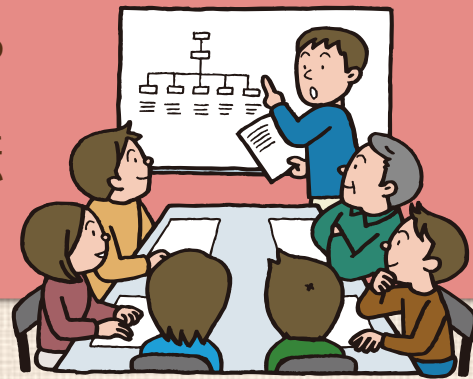


防災協働社会の実現に向けて

災害被害を軽減するため、地域の人々が互いに連携・協力していく社会が「防災協働社会」です。ここでは、防災協働社会の実現に向けて愛知県防災局が実施している取組の一部を紹介します。



あいち防災協働社会推進協議会

今後、発生が予想される南海トラフ地震や風水害などの自然災害による被害を軽減していくためには、県民のみなさんの自然災害への危機意識を高め、災害に備えて実際に行動するよう促し、県民のみなさんの一人ひとりの「自助」、地域社会における「共助」、行政による「公助」の三つが連携した防災協働社会を形成していく必要があることから、行政機関、事業者団体、地域団体、ボランティア団体等が参加する「あいち防災協働社会推進協議会」を平成19年7月に設立しました。

協議会は、会長の知事を始め、行政機関、事業者団体、地域団体、ボランティア団体等の代表者40名で構成するほか、アドバイザーを2名配置しています。

本協議会では、災害被害の軽減に向けた県民運動を展開していくため、①防災知識の普及啓発、②安全への備えの促進、③連携による地域防災力の向上の3点を重点取組事項とした「災害に強い地域づくりに向けた活動方針」を定め、この活動方針に基づき、各構成団体とともに、防災協働社会の推進に向けて取り組んでいます。



防災・減災カレッジ

災害被害の軽減に向けた県民運動を推進しているあいち防災協働社会推進協議会では、地域の産学官民が連携、協働して防災人材を育成する「防災・減災カレッジ（防災人材育成研修）」を平成24年度からスタートさせました。平成26年度は、「防災基礎研修」を名古屋大学と豊田市福祉センターの2か所で開催したのを皮切りに、災害時にボランティアコーディネーターとして活動したい方向けの「防災VCoコース」、地域防災の担い手を目指したい方向けの「地域防災コース」などの5つのコース（各コース3日間）と「啓発指導講座」、「救命救急講座」など3つの選択講座（各講座半日間～1日間）をより多くの方に受講していただけるよう、実施回数を2回に増やして実施しました。

また、名古屋市の防災指令センターや県の災害情報センター、庁舎の免震構造等の防災関係施設を見学する防災・減災ツアーも企画するなど、新たな内容も盛り込んでいます。

災害に負けない愛知を一緒に作っていくために、今後も多くの方々の参加を募集しています。



(6月28日(土):500名) (10月4日(土):300名) 防災基礎研修 (名古屋会場)	第1回(9月6日(土)及び9月20日(土):60名) 第2回(11月29日(土)及び12月6日(土):60名)	市民防災コース
(7月5日(土):400名) 防災基礎研修 (三河会場)		第1回(8月22日(金)及び29日(金):60名) 第2回(12月19日(土)及び12月20日(土):60名)
選択講座 (9月19日(金)または1月31日(土):各40名) 啓発指導講座	(7月18日(金)及び8月8日(金):70名)	防災行政コース
(9月27日(土):各50名) メディア講座	第1回(7月12日(土)及び8月2日(土):50名) 第2回(10月18日(土)及び11月15日(土):50名)	地域防災コース
(9月12日(金)午前・午後 1月24日(土)午前・午後 各30名) 救命救急講座	第1回(7月12日(土)及び7月26日(土):30名) 第2回(10月18日(土)及び10月25日(土):30名)	防災VCo <small>(ボランティアコーディネーター)</small> コース
(10月10日(金)午後40名) 防災・減災ツアー		

※上図は平成26年度の内容

